

友の会 NEWS

The National Museum of Modern Art, Kyoto
京都国立近代美術館



July 2011 No.20

視覚の実験室

モホイ＝ナジ / イン・モーション MOHOLY-NAGY IN MOTION

2011年7月20日(水)～9月4日(日)



《ジェラシー》1925/1973年
福田市美術館蔵

20世紀美術に「新しい視覚(ニュー・ヴィジョン)」をもたらしたハンガリー出身の芸術家、モホイ＝ナジ・ラースロー(1895-1946)の全体像を紹介いたします。

構成主義の美術家・写真家、パウハウスの教師として知られるモホイ＝ナジは、20世紀前半の前衛芸術運動に参加して「光と運動による造形」という創作理念を確立し、ハンガリーからウィーンへ、そしてドイツ、オランダ、イギリスを経てアメリカへと、自らも世界の都市を移動しながら、多様な造形・教育活動を行いました。

本展は、多数の貴重な未公開作品を含む遺族所蔵のコレクションを中心に、ハンガリー時代の絵画、キネティック彫刻の代表作《ライト・スペース・モデュレータ》、カメラを使わない写真技法「フォトグラム」、アメリカ時代のカラー写真など、国内外の美術館から集められた約300点の作品・資料によってモホイ＝ナジの仕事を展望する日本で最初の回顧展です。その多くが国内初公開となります。表現の可能性をいまなお新鮮に、未来に向けて訴えかけるモホイ＝ナジの世界を、ぜひご覧ください。

イチハラヒロコ+箭内新一「プレイルーム。2011」



展示期間: 2011年7月26日(火)～9月11日(日)
会場: 京都国立近代美術館 1F ロビー(入場無料)

美術家イチハラヒロコと箭内新一によるインスタレーション「プレイルーム。」は、2007年に当館で実施した「ギャラリー・ラボ 2007」の関連プロジェクトとして1階ロビーに設けられ、その後当館が購入・収蔵したプロジェクト作品で、年一度の公開も今年で5回目を迎えます。

この作品は発表のたびに部分的に新たな要素が加えられ、内容を変化させながら、時間と共に成長するユニークな作品です。「プレイルーム。」は、我が子の成長にあわせて考案されたイチハラのことばの作品を眺めながら、大きな円形の畳の上で寛いだり、箭内とイチハラ



の作品で遊んだり、大人と子どもが自由に過ごせる多目的スペースとして機能してきました。この空間はひとつの美術作品である一方で、美術館という公共空間のあり方について、来館者と美術館とが共に考えていこうとする実験場でもあります。

(左上: プレイルーム。2009、右下: プレイルーム。2010)

NFC 所蔵作品選集

MoMAK Films @home【実験映画】



日時:

8月19日(金)・20日(土)

19日: 午後7時～8時18分

20日: 午後2時～5時12分

場所: 当館 1F 講堂

料金: 1プログラム・500円

『アッシャー家の末裔』より

(各回入替制)

※19日の上映前に、金沢大学教授の仲正昌樹氏による特別講演会「ベンヤミンとドイツ近代映画」があります。

併せてご参加ください。(詳細は下記にてご確認ください)

上映プログラム

19日(金)※4作品上映 20日(土)

午後7時～8時18分

・『狂熱』

・『殻と僧侶』

・『塔』

・『鋼鉄交響楽』

午後2時～2時56分

・『アッシャー家の末裔』

午後3時10分～5時12分

・『イタリアの麦藁帽子』

特別講演会「ベンヤミンとドイツ近代映画」

講師: 仲正昌樹(金沢大学教授)

日時: 2011年8月19日(金) 午後5時～6時30分

会場: 当館 1F 講堂

定員: 100名(聴講無料・当日開始時間の1時間前より受付にて整理券を配布します。)

仲正昌樹

金沢大学法学類教授、1963年広島生まれ、東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程修了。西洋古典、現代ドイツ思想、社会哲学、基礎法学、医療問題から、テレビ、映画、アニメ、松本清張まで幅広く真剣に議論を展開している。主な著作に、『日本とドイツ 二つの全体主義「戦前思想」を書く』(光文社、2006)、《集中講義! 日本の現代思想——ポストモダンとは何だったのか》(日本放送出版協会、2006)、『ヴァルター・ベンヤミン「危機」の時代の思想家を読む』(作品社、2011)など多数。

友の会特別解説会

友の会会員の皆様をご招待し、

展覧会担当者が解説ツアーを開催いたします。

日時: 8月6日(土) 午後2時～3時

(午後1時50分に1Fインフォメーション前に集合)

解説者: 牧口千夏(当館研究員)

申込方法

申し込み先: 京都国立近代美術館 事業係

電話: 075-761-4115

(月曜から金曜まで午前10時～午後5時)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

「二週間限定公開の《黒船屋》を見て、 夢二ゆかりの地・榛名山をめぐる」友の会ツアー

訪問地：群馬県渋川・伊香保町

◆ご旅行期間／平成 23 年 9 月 17 日（土）～ 18 日（日）

－出発時間／午前 7：40 京都駅八条口集合

－帰着時間／午後 6：45 京都駅到着・解散予定

◆旅行代金／大人一名様 53,000 円（税込）

※交通費、宿泊費（朝夕 2 食）、旅行障害保険、施設入場料が含まれます。

◆旅行代金に以外に必要なもの／昼食代

◆宿泊先／松本楼別館 洋風旅館ぴのん

◆募集人数／12 名（同伴 2 名様まで申込可） ※最少催行人数／5 名



竹久夢二伊香保記念館「黒船屋」
竹久夢二の門外不出の代表作《黒船屋》が期間限定で展示。17 日の午後 2 時より館長に解説いただき鑑賞します。



伊香保温泉の名物
・356 段の石段街
伊香保温泉のシンボル。石段の両側には、旅館の他に土産店、甘味処、射的などがあります。



松本楼別館
洋風旅館「ぴのん」
夢二記念館おススメの宿。夕食が特に美味で温泉も魅力的。伊香保でも老舗の「松本楼」の別館としてオープン。



ハラミュージアム
アーク
東京の原美術館の別館として 1988 年に設立、国内外の優れた現代美術と東洋の古美術をご覧いただけます。

同伴 2 名様まで可能なので、ご夫婦での参加、ご友人を誘っての参加も是非！



榛名山
竹久夢二のアトリエや歌碑を訪問します。榛名湖と榛名山の絶景も楽しんでいただけます。

今秋、国立美術館としてはじめて竹久夢二の展覧会を開催いたします。夢二は、熱心なコレクターによる数多くの収集品が知られていますが、このたび幸いにして当館に収蔵の運びとなった版画家・川西英のコレクションは、ともに美術家である「夢二と英」、ふたりの友情と創作の精神によって育まれた他のコレクションには例のない貴重なものとなっています。

そして夢二といえば《黒船屋》(1919 年)。現在は竹久夢二伊香保記念館の門外不出作品として知られていますが、このたび「友の会」では、当館で夢二の展覧会を開催するにあたり、記念館で《黒船屋》の特別鑑賞・解説会に参加して、夢二が晩年理想郷と仰いだ榛名湖にも足を運び、榛名山を望む絶景の地に建つ夢二のアトリエや記念碑など、夢二ゆかりの地をめぐるツアーを企画いたしました。

旅の疲れは伊香保温泉で癒しながら、「夢二」の魅力を心ゆくまで堪能いただけることでしょう。もちろん青木繁ツアーでも好評だった展覧会担当者と職員 2 名も同行し、みなさまのお世話をいたします。

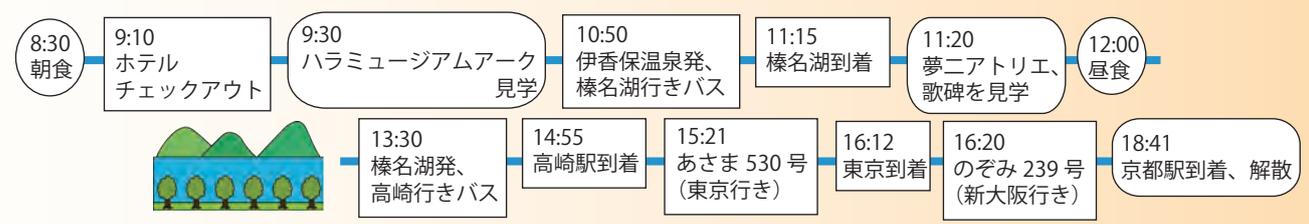
旅行日程



1 日目



2 日目



《黒船屋》1919 年
竹久夢二伊香保記念館蔵

※日程は多少変更する場合がございます。

申込方法 締切／平成 23 年 7 月 29 日（金）

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係
電話：075-761-4115

(月曜から金曜まで午前 10 時～午後 5 時)

※お申し込みの際は、お名前・会員番号をお伝えください。

※人数が確定次第、参加費のご案内をいたします。